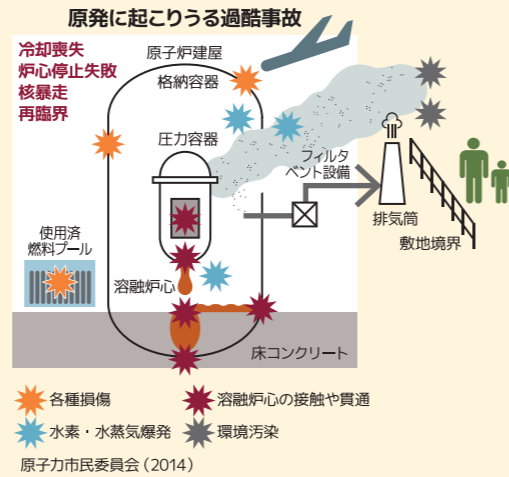


原子力や石炭火力は、放射能や大気汚染物質を出し「安全」なエネルギーとは言えません。人にも生態系にもやさしい形で、再エネにシフトしていきましょう。



1 原発規制基準は「安全」を保証していない

日本の規制基準は「安全」を保証するものではありません。地震国日本で防ぎようのないリスク、補償できない被害もあることは、福島第一原発事故の経験から明らかです。

2 原発事故の無責任体制

日本では「避難計画」は審査されません。「地元同意」も立地自治体と道府県に限られます。事故時の損害賠償制度も、全く不十分です。福島第一原発事故時には首都圏避難の可能性もありました。

3 行き場のない核のごみ

核分裂エネルギーを使う原発は大量の使用済み核燃料を出します。既に1万8千トン以上の使用済み核燃料と、47トンのプルトニウムが貯まっています。これらをどう処分するのか、まったく見通せません。これ以上の発生を止める必要があります。

4 気候変動問題は環境・経済・人権の危機

化石燃料などを燃やすことが世界中で熱波、大雨、洪水、干ばつ、海面上昇などをもたらす、すでに大量の環境難民を発生させています。気候変動影響に特に脆弱な途上国の人々や将来世代の安全を考えれば、このまま化石燃料を使い続けることはできません。



持続可能な社会に向けて大きな転換を！

世界でも日本でも持続可能な再エネへの関心が大きく高まり、節電や省エネの取り組みが広がりました。日本のエネルギー消費量は減り、再エネの割合は増えています。十分ではないものの、電力システム改革も進んでいます。

日本はこれまで原子力と化石燃料に大きく依存してきました。震災後に化石燃料への依存がさらに増え、自給率の低下やCO₂の排出増が問題視されています。福島第一原発事故により、環境にも将来にも負荷の大きい原子力は解決策ではないことが明らかになりました。しかし、日本政府や産業界の一部は、事故の教訓から学ぼうとしていません。

「安全 (Safety)」で、「環境 (Environment)」にやさしく、「経済効率性 (Economic Efficiency)」もあり、「エネルギー安全保障 (Energy Security)」を満たす。化石燃料資源には乏しくても、自然資源の豊かな日本のエネルギーの選択肢はなんでしょう。「S+3E」=持続可能性の観点から、日本のエネルギーの現状と未来を考えてみましょう。



市民が変えるエネルギー基本計画プロジェクト <http://ene-rev.org/>

eシフト、FoE Japan、気候ネットワーク、原子力資料情報室、環境エネルギー政策研究所 A SEED JAPAN、グリーンピース・ジャパン、市民電力連絡会、原水禁、経産省前テントひろば
Tel : 03-6909-5983 〒173-0037 東京都板橋区小茂根1-21-9 (FoE Japan内)

*本リーフレットを50部からおわけしています。ご希望の方は「氏名、送付先、電話番号、部数、いつまでに必要か」をFAXまたはメールでご連絡ください。 FAX : 03-6909-5986 Email : info@e-shift.org
*本リーフレット制作・送付のため、任意ですが1部10～20円のカンパをお願いしています。カンパ振込先 郵便振替口 : 00130-2-68026 口座名 : FoE Japan



どうする？これからの日本のエネルギー

電気を含め、私たちの暮らしに欠かせないエネルギー。2011年東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故を機に、エネルギーをどう使っていくか？関心が高まっています。日本や世界のエネルギー事情はどうなっているのでしょうか。これから、どうしていけばいいのでしょうか。一緒に考えてみませんか？

2017年は、「3年ごとに見直す」とされている政府のエネルギー基本計画の見直しの年。市民が参加する、透明で民主的な議論が欠かせません。

福島第一原発事故以降、世界の各地で、エネルギーシフトに舵を切る国が相次いでいます。また、パリ協定が発効し、化石燃料（とりわけ石炭火力）から脱却して再生可能エネルギー（再エネ）社会へ向かう国際的な大きな動きが始まっています。2050年の長期を見すえ、持続可能な方向への大きな転換を打ち出すときです。

日本政府や産業界の一部が固執する原子力や石炭火力発電から脱却し、省エネルギー（省エネ）を基本に地域に根差した再エネに舵を切ることで、安全・安心で持続可能なエネルギー社会をつくることができます。

そのような社会を実現するために、各地から声をあげましょう。

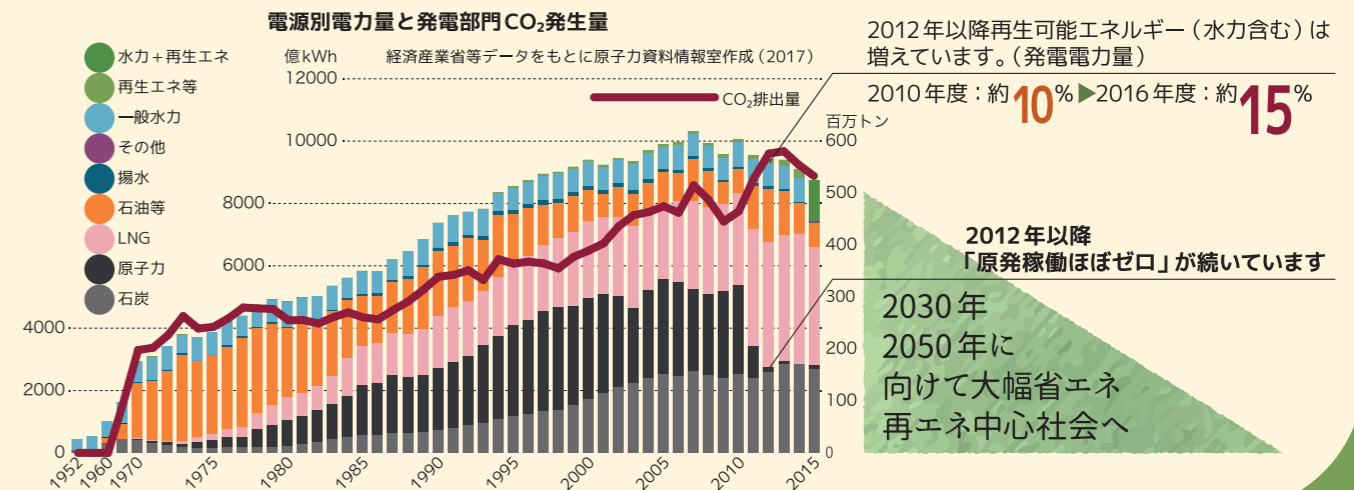
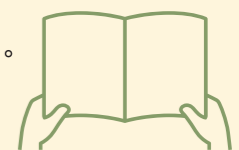
参加しよう！ <http://ene-rev.org/>

●プロジェクトのウェブサイトをチェック！
今後のイベントやアクション、エネルギー基本計画見直しのプロセスについて情報を更新します。



●このリーフレットを広めよう！

お友達にわたしたり、イベントなどで活用しよう。

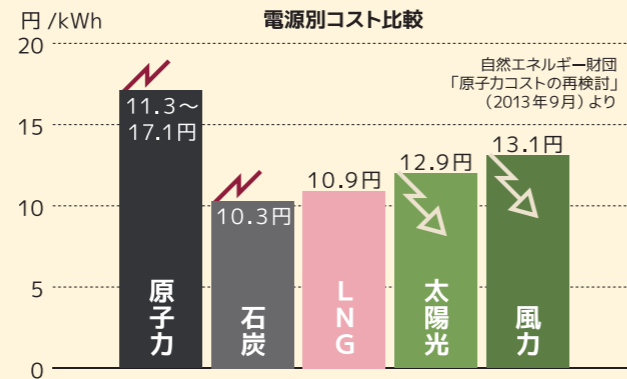


再エネって高いの？ 経済効率性 – Economic Efficiency

福島第一原発事故後、原子力の発電コストは増大、化石燃料の輸入も電気料金を押し上げています。すでに世界の多くの国・地域で、最も経済効率性が高いのは省エネと再エネです。また、エネルギー効率向上や再エネの熱利用、自動車などの脱化石など広い分野で経済効率性を表現していきましょう。

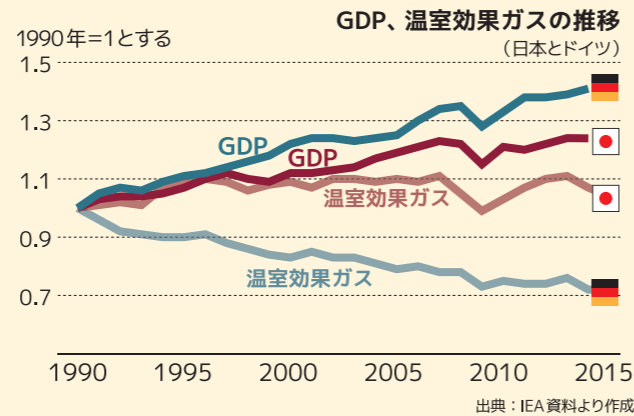
1 原子力・石炭火力のコストは上昇！ 再エネコストは急低下！

原子力は、事故対策費用の増大で世界的にコストが上昇。石炭火力も、CO₂対策などでコスト増が見込まれ、パリ協定にも反することから世界の多くの金融機関などが投資から撤退。一方、世界中で再エネは低コストに。太陽光などの再エネは燃料費がほぼゼロなので電力市場価格を押し下げます。固定価格買取制度（FIT）の賦課金は、負担ではなく、将来への投資です。



2 原子力・石炭には「隠れたコスト」がある！

すでに起きてしまった原発事故の賠償費用、廃炉費用、廃棄物の処理費用、保険費用などは、政府発表の原子力コストには十分に反映されていません。石炭火力でも、大気汚染がもたらす健康被害は発電コストには含まれていません。炭素税などが本格的に導入されれば、実際にコスト上昇します。

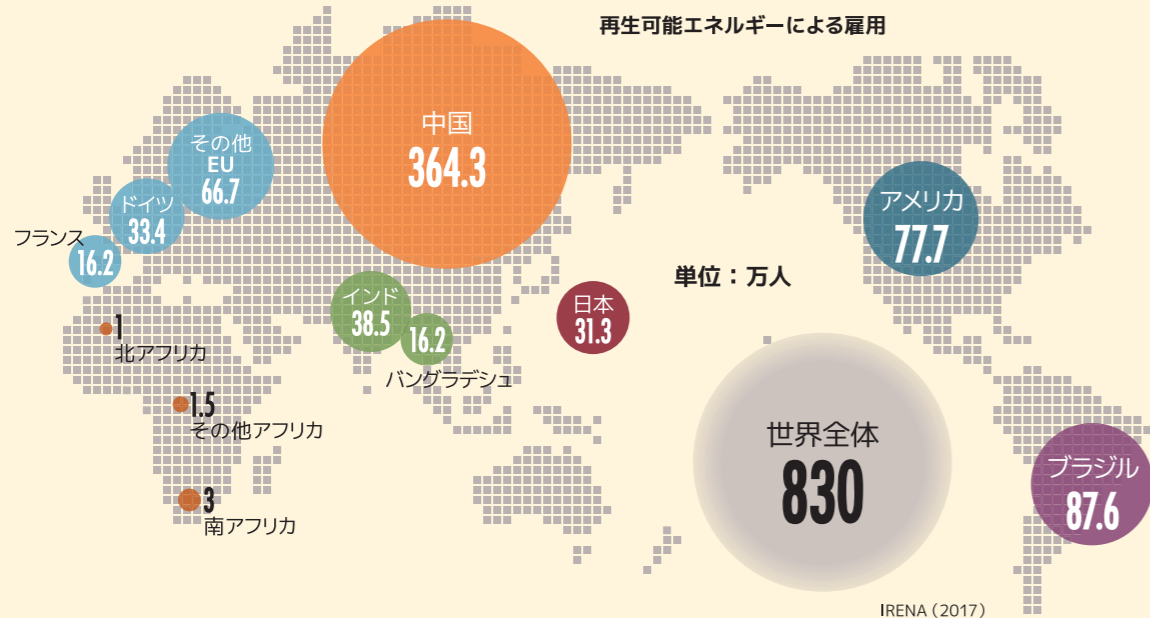


3 エネルギー需要を減らして経済成長も

日本のエネルギー需要は原発事故後から減少しています。今後も、生活レベルは下げずに、省エネや技術で減らすことが可能です。日本も含め世界ではすでに、エネルギー需要やCO₂排出の増加なしに経済成長する（デカップリング）傾向が見えています。

4 再エネは雇用拡大や地域活性化にも！

再生可能エネルギーを導入することで雇用が拡大し、地域が潤う事例は世界各地にあります。日本でも再エネ市場での雇用拡大が現実的。

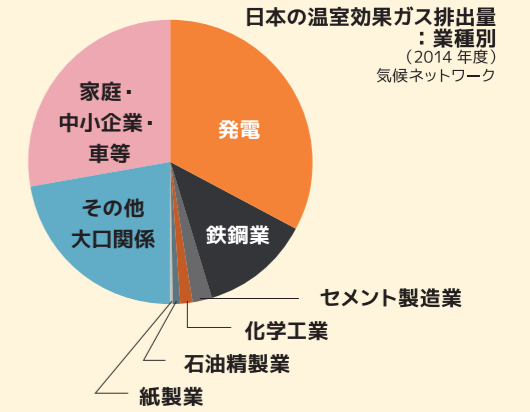


環境に優しいのは？ 環境 – Environment

最も環境にいいのはムダなエネルギー消費を減らすこと。つまり省エネです。発電による環境影響で問題なのはCO₂排出だけではありません。化石燃料は大気汚染物質も排出。原子力発電も、放射性物質で地球を汚し、また保管方法も決まらない使用済核燃料を残すため「ゼロエミッション」ではありません。本当の「ゼロエミッション電源」は再エネだけです。

1 日本のCO₂排出の3分の1は電力会社からの排出

電力部門の石炭火力発電を再エネにシフトすることでCO₂を大幅に削減することができます。

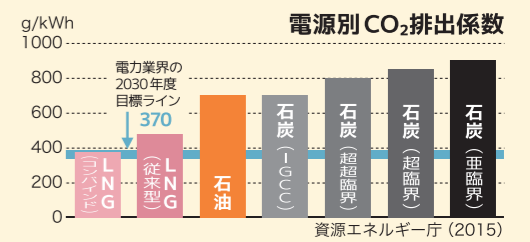


2 原発を使わずに省エネ・脱石炭・再エネへ

パリ協定*で多くの国がCO₂排出の大きい石炭からの脱却を目指しています。また協定参加国のほとんどが、原子力を温暖化対策に入れていません。日本でも2014年には、原発稼働がゼロのなか、省エネと再エネでCO₂排出を減らしました。

3 石炭火力は「最新の効率」でもCO₂排出量が多い

CO₂排出量をみれば、石炭火力発電は特に高く、「高効率」といわれるものでも天然ガスの約2倍です。日本では石炭火力発電の新設計画がまだに40基以上（2000万kW以上）あり、パリ協定に完全に逆行しています。



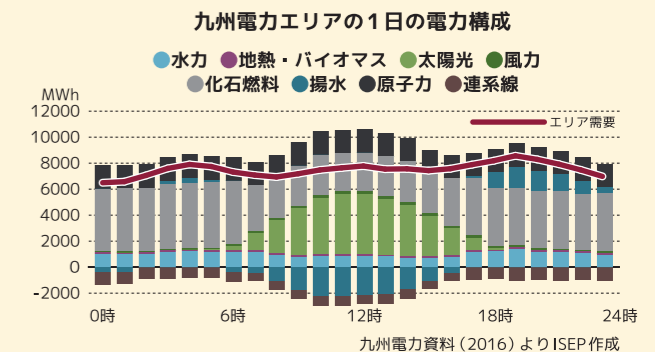
*パリ協定：21世紀後半には温室効果ガス排出を実質ゼロにすることなどを決めた国際協定。

エネルギー自給率を上げるには？ エネルギー安全保障・安定供給 – Energy Security

もっとも安全で枯渇しない「国産」エネルギーは再エネです。自然資源の豊かな日本には、再エネを増やすポテンシャルがたくさんあります。持続可能な形で増やしていくことが欠かせません。

1 エネルギー自給率を高めるのは再エネ！

原油は8割を中東に依存、天然ガスや石炭、原発に必要なウランもほとんど輸入したものです。原子力は「国産エネルギー」ではありません。一方、純国産エネルギーは日本の豊富な自然（太陽や風の力）にたくさんあります。



2 再エネが基幹電源になる

再エネを最優先で給電し、残りの部分を火力発電や揚水・連系線などで調整することで、再エネを基幹電源として使うことができます。

2016年5月4日の九州では、一時的に再エネが78%(kW)に達しました。この日一日を通じた再エネ比率も38%(kWh)に。

3 原子力は「不安定電源」

事故・災害などの際にすぐに止まる、止めなければいけない原子力は「安定電源」とは言えません。大規模電源が止まれば大規模停電のリスクもあります。

